

読書の秋 く知との出会い

校長 村上俊二

「本と旅する・本を旅する」という標語で、今年も読書週間が行われました。本校ではそれに合わせて図書委員が企画して読書集会を行い、自分のおすすめの本を紹介したり、本のクイズをしたりして、みんなが『読んでみたいな』という感想を持つ豊かなひとときを過ごしました。

「図書館は『人生の一冊』に出会える知の宝島である」という言葉を聞いたことがあります。本校では、図書館を活用し「神石小学校・読書百選」を先生たちが選定して、「卒業までに全部読もう」を目標に取り組んでいます。子どもたちの図書館利用がとて活発になっています。

子どもが本を読むのを、大人がそばに座って静かに聞く（読み聞かせでもよい）ことで一冊の本を通じて親と子の心に共通の橋を架け、子どもの愛情への欲求を満たし、子どもの成長にとって大切なものを育むことができるそうです。秋の夜長、「一冊の本を中心に家族の対話が広がる」そんな豊かなひとときが持てる家庭であってほしいと願っています。